

令和五年第二回薩摩川内市議会定例会 施政等の概要

令和五年第二回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、新型コロナウイルス感染症につきましては、国において、先月八日から、法令上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとされ、五類感染症の位置付けに移行されました。

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから三年余りの間、第八波まで全国的に感染が拡大した中、市民の皆様におかれましては、必要な場面でのマスクの着用、手洗い・手指消毒やこまめな換気の実施、三つの密の回避などの基本的な感染防止対策に御理解と御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

また、医療機関や高齢者施設等の現場において、非常に厳しい環境の中、献身的に御尽力いただいている医師、看護師、介護職員をはじめとする関係者の皆様に対しまして、改めて深く御礼申し上げます。

本市におきましては、これまで七十回にわたり、新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、国や県の対応状況に関する情報を共有

するとともに、感染状況の把握、公共施設の利用やイベントの開催などの対応方針について議論を重ねてきたほか、新型コロナウイルススワクチンの円滑な接種の推進に努めて参りました。

ワクチンの接種につきましたは、特例臨時接種が延長され、引き続き自己負担なしで接種できるようになり、先月八日から春開始接種を進めております。私自身も、先月二十八日に、六回目となる接種を済ませたところであります。六十五歳以上の方や基礎疾患を有する方などの対象者で、接種を希望される方は、重症化予防、感染予防及び発症予防の観点から、早めの接種をお願いいたします。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した原油高等による物価高騰につきましたは、生活に欠かせない経費である電気・ガス料金や食料品価格の更なる上昇が生じており、依然として、市民生活に影響を及ぼしております。

この喫緊の課題に対応するため、四月十八日、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯への支援を内容とする総額一億八千五百二十三万一千円の予算を専決処分いたしました。

また、先月二十三日には、電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴う低所得者への支援を内容とする総額五億六千六百四十五万八千円の予算を専決処分したところであります。

今後も、国等の支援制度を活用しながら、市民の皆様寄り添い、

それぞれの実情を踏まえた必要な支援を実施して参ります。

災害対策につきましては、線状降水帯による局地的な大雨への対応や、梅雨時期における自然災害等への備えに向けた準備として、四月十日に防災会議を開催し、同月二十一日には防災点検を実施いたしました。

今月五日には、川内川河川事務所において操作機器の連動・集約化を図り、遠隔監視・操作が可能となった向田排水機場につきまして、市役所からの遠隔操作訓練も実施したところであります。

また、本年度から、災害発生時に薩摩川内市総合福祉会館を障害者や障害児の福祉避難所として新たに利用することができるようにするため、四月六日、薩摩川内市社会福祉協議会との間で「災害時における福祉避難所に関する協定」を締結いたしました。

さらに、四月二十五日には、川内ガス販売協同組合との間で、避難所等における被災者の支援を円滑に実施するため、「災害時におけるLPガス対応機器の貸与に関する協定」を締結したところであります。

これから、風水害等が発生する可能性が高まる時期を迎えますが、災害時においても、市民の皆様の不安を和らげることができるよう、関係機関との連携による支援体制の充実や防災体制の強化を図り、安全・安心の確保に努めて参ります。

四月十一日には、京セラ株式会社から、川内港を利用した製品輸出についての報告がありました。今回の取組は、同社の鹿児島川内工場内で生産された製品を川内港からベトナム及び中国に輸出するものであり、川内港の港湾機能の強化やアクセス道路の整備を目指す本市にとって、大変意義深いものであります。

また、川内港に隣接する川内（火力）発電所跡地におけるサーキユラーパーク九州構想に関しましては、四月六日に、九州電力株式会社から、企業や地域の廃棄物の再資源化を行うリソーシング事業の事業化決定が発表されました。今後、新会社の設立、事業開始により、資源循環拠点の実現に向けた具体の取組が展開されることを期待しております。

四月二十日には、イタックス株式会社と事業所増設に係る立地協定を締結いたしました。同社には、令和三年二月のイタックスFBセンター操業開始以来、入来工業団地において、地域の振興及び雇用の創出に御貢献いただいております。今回の増設では、従来廃棄されていたフレキシブルコンテナバッグの再利用にも着手される計画であり、本市におけるSDGsの推進にも寄与するものであります。

一方で、市内の雇用に関しては、人材不足が課題となっていることから、阿久根市及びさつま町と設立した「薩摩國雇用創造協議会」

の取組として、今月四日に福岡市で開催された「マイナビ転職フェア」に参加し、産業人材の確保、移住・定住の促進に向けたトップセールスを実施いたしました。今後も、関係団体、小・中・高校等との連携により、UIJターン希望者や若年層などを対象とする積極的な産業人材確保対策を実施して参ります。

これらの動きは、昨年二月に公表した「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」に掲げた循環経済・産業拠点の創出や雇用の創出につながるものであります。

この経済好循環に向けた気運を踏まえ、進行中である川内港臨海ゾーンなどにおける施策・事業について、問題・課題の共有を図り、横断的な対応、進捗管理を行うマネジメント組織として、本年度、「薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル経済チャレンジ推進本部」を設置いたしました。四月二十八日には、一回目となる会議を開催し、川内港久見崎みらいゾーン、サーキュラーパーク九州、高城産業用地、川内港、川内宮之城道路を「五つの現場」と位置付け、これらの開発及び建設促進について、現状と課題の整理、今後の事業計画の確認を行ったところであります。この「五つの現場」における事業に、民間投資による事業拡大を加えた取組について、市民生活の向上、本市の将来ビジョンの実現において、重要な役割を担う経済チャレンジとして、総力を挙げて事業推進を図り、その

成果の結実を目指して参ります。

四月一日には、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている入来麓地区において、入来麓交流館開館セレモニーを行いました。歴史・文化や観光情報の発信拠点として、今後、多くの市民や観光客の皆様にご活用いただき、地域に新たな交流が生まれることを期待しております。

先月九日には、バレーボール女子日本代表チーム強化合宿の歓迎式を行いました。本市における同チームの合宿は十回目となります。本市のスポーツ大使でもある井上義浩チームマネージャー、眞鍋政義監督の指揮の下、今回の合宿による成果を十分に発揮され、現在開催中のネーションズリーグ二〇二三において、優勝の栄冠を勝ち取られることを市民の皆様と共に願っております。

先月二十一日には、第十八回薩摩川内市芸能祭を開催いたしました。郷土芸能や友好都市である韓国昌寧郡文化院文化交流団による伝統芸能などが披露され、多くの方々が多様な演目を鑑賞されました。引き続き、市民の皆様が文化芸術活動に親しむ場の創出に努めて参ります。

先月二十七日には、フランス船籍のクルーズ船「ル・ソレアル」の甌島寄港を祝うため、藺牟田漁港及び中甌漁港において、歓迎セレモニーを行いました。今回の寄港では、約百二十名の皆様が甌島

に上陸され、食や景観、伝統芸能を堪能されました。クルーズ船の寄港は、本市の魅力を発信し、交流人口の拡大につながる機会であり、今後も、地元や関係機関の皆様と連携し、受入体制の充実を図って参ります。

このように、人流がコロナ禍前に戻りつつある中、本年十月には、本県での五十一年ぶりの開催となる「燃ゆる感動かごしま国体」が予定されております。残り四箇月ほどとなりましたが、競技団体をはじめ関係者の皆様と連携・協力を図りながら、最終的な準備を着実に進め、市民の皆様と一体となって、本市ならではのおもてなしを行い、交流人口の創出、更なる拡大に全力で取り組みます。

甑島では、四月十九日に、上甑ほのぼの交通出発式が行われました。この事業は、地域の移動手段の確保のため、上甑地区コミュニティ協議会において、自家用有償旅客運送を実施するものであり、今後、地域住民の皆様を生活を支える大切な交通手段として、多くの方々が利用されることを期待しております。

先月一日には、下甑手打診療所の元医師である瀬戸上健二郎氏に感謝状を贈呈いたしました。本市においては、かつての瀬戸上氏の医療体制の維持に関する取組や、甑島医療の現状を踏まえ、甑島地域医療体制整備基金（愛称「Dr. コトー診療所基金」）を設置しており、地域の皆様からの寄附金やふるさと納税も財源として活用

しながら、甌島区域における医療従事者の確保及び医療設備の充実に努めて参ります。

四月一日から、川内川右岸大小路地区の河川敷につきまして、川内川大小路みらい公園協議会による維持管理を開始いたしました。これは、本年三月に締結した「大小路都市緑地維持管理協定」に基づくものであり、河川敷を賑わいのある水辺空間として利活用する社会実証実験として、同協議会の皆様と連携して取り組んで参ります。

四月十六日、二十日及び二十三日の三日間、自治会運営説明会を開催し、五百五十一名の自治会長の皆様に委嘱状を交付いたしました。本年度における市の主要施策の概要や自治会運営に関する事項等を説明するとともに、自治会長の皆様から自治会活動や支援に対する貴重な御意見をいただきました。

四月二十八日には、若手職員で組織したスマートシティ・マイナンバーカードプロジェクトチームから市のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に係る提言を受けました。スマートシティ構想の実現に向け、今回の提言を、住民サービスの利便性の向上や、行政事務におけるデジタル技術の更なる活用につなげて参ります。

先月十一日には、三回目となる祁答院地域小学校再編協議会が

開催されました。今回の会議では、校章のデザインや校歌の歌詞、標準服・通学方法などが審議されたほか、小学校再編に向けた大妻小学校の改修について、説明を行ったところであります。

先月二十四日には、川薩春季畜産共進会が開催されました。昨年十月に開催された全国和牛能力共進会鹿児島大会において、本県は「和牛日本一」に輝いており、引き続き、地域をはじめ関係機関の皆様と一体となって、更なる畜産振興に取り組んで参ります。

SDGs・カーボンニュートラルの推進につきましては、先月二十日、内閣府によるSDGs未来都市の選定から一年が経過いたしました。本年四月からは、新たなSDGsイノベーションイアルサポート事業として、トイレタリー製品のプラスチック容器類の分別回収実験も実施しております。今後も、実証実験等の様々な取組を積極的に展開し、地域課題の解決や豊かな市民生活の実現を目指して参ります。

今月一日には、自治総合審議会を設置し、委員の皆様にご委嘱状を交付いたしました。これまでの広聴活動を踏まえて、現在、令和七年度を始期とする第三次総合計画の策定作業を進めており、今後、同審議会に諮問する予定であります。二〇三〇年のSDGsの達成、二〇五〇年のカーボンニュートラルの達成など、未来のまちの姿を見据え、市民の皆様が主体的に参画し、協働して持続可能なまちづくり

くりを推進する、本市の未来創生の羅針盤となるよう、第三次総合計画の策定を進めて参ります。

川内原子力発電所の運転期間延長につきまして、鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会においては、先月二十六日に鹿児島県知事に報告書及び意見書を提出されており、今月十四日には、本市において検証結果に関する住民説明会が開催される予定であります。

また、鹿児島県においては、原子力規制委員会及び九州電力株式会社に対する要請書案について、今月六日には、UPZ内の九市町に対して、来月十四日を回答期限として意見照会を行い、今月十五日から県民の皆様へ意見募集を開始することとしております。

私は、川内原子力発電所の運転期間延長につきまして、四月七日に運転期間延長認可申請等に係る現地調査に来訪された原子力規制委員会の杉山智之委員に対して、また先月三十一日には、原子力規制委員会及び原子力規制庁を訪問し、大島俊之原子力規制部長に対して、川内原子力発電所の運転期間延長に係る厳正な審査、併せて審査内容・結果に関する市民の皆様への丁寧な説明を要望したところであります。

ところで、令和四年度の各会計の決算につきましては、先月三十一日に出納閉鎖となり、一般会計の実質収支で三十三億四百

九十九万七千円、九つの特別会計の実質収支の合計額で六億二千七万四千円の剰余となりました。

全ての会計において、健全な財政運営を堅持でき、今後の安定的な財政運営に必要な実質収支を確保できましたことを御報告申し上げます。

これも議員各位の御協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

次に、今回の補正予算案につきましては、当初予算成立以降、国県補助金の内示を受けるなど、事業実施上補正する必要が生じた経費について、措置いたしました。

まず、一般会計につきましては、十一億八千九百五十四万二千円を増額し、予算総額を五百六十六億三千七十四万五千円としたところであります。

主な補正内容でございますが、特定離島ふるさとおこし推進事業補助金を活用した事業として、恐竜化石活用事業等の所要経費を計上したほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業として、飼料費高騰対策支援や学校給食食材高騰対策に係る経費などを計上するとともに、国庫補助金の内示により、マルチ医療DXに係る経費を計上しております。

また、歳入において、補助事業の内示等による国県支出金や寄附金、市債等の増減調整を行っております。

国民健康保険直営診療施設勘定特別会計におきましても、一般会計と同様に、特定離島ふるさとおこし推進事業補助金の内示等に伴う所要の経費を計上しており、補正額は、一千百六万八千円の増額となっております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案及び薩摩川内市税条例の一部を改正する条例案について、御審議をお願いしております。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。